

題名 5現場連続施工下における調整と休日確保について

静岡地区 木内建設（株）

CPDS 番号 00107395（主）現場代理人・監督技術者 浦田剛弘

現場担当者 梅林大興

CPDS 番号 00163954（副）

” 多藝嘉章

1. 工事概要

本工事は1号静岡バイパスの橋梁補強を目的に、本線および下り線唐瀬インターオンランプ橋脚のRC巻き立て、落橋防止装置設置等の耐震補強を行った。

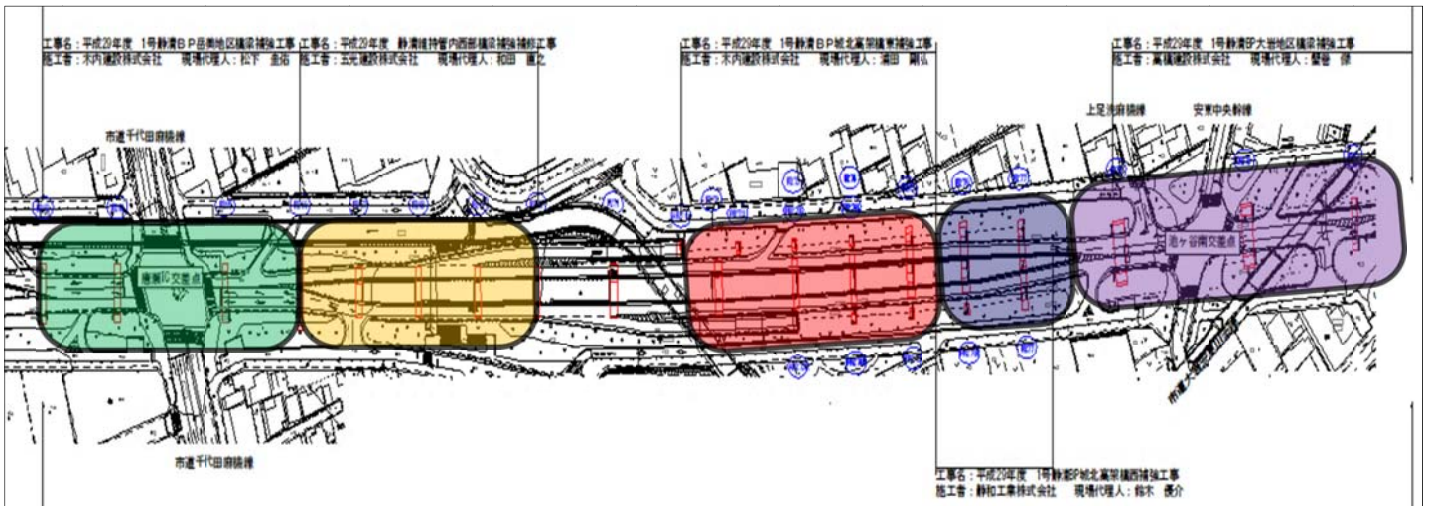
現場は南西に県立総合病院が近接しており病院関係の交通量が多く、救急車両も頻りに往来していた。また、付近には小学校、幼稚園、高等学校があり、朝・夕の時間帯には多くの学生が通学していた。

現場は同時期発注された5現場が連続しており、その上各現場とも側道を部分規制しながら施工を行う必要があった。工事による社会的影響軽減のために、5現場の連絡調整が重要であった。

また本現場は「働き方改革」の取り組みとして、受注者希望型で2/7休日の確保をするため、週休2日を意識した工程調整も必要であった。

工事名	平成29年度 1号静岡BP城北高架橋東補強工事
発注者	国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所 静岡国道維持出張所
工事場所	静岡県静岡市葵区北安東
工期	平成30年3月7日～平成31年3月27日

2. 現場における問題点



同時期に発注された5現場

① 5 現場の連絡調整について

5 現場が各々工事看板、路肩規制等を行うと、側道利用者が混乱してしまう恐れがあった。工事看板設置位置、路肩規制、夜間通行止め規制等の情報を 5 現場間で共有し、連携を図る必要があった。

②2/7 確保のための工程管理について

本工事は橋梁下の作業であり雨天等による影響が少ないため、ムダのないスムーズな工程を検討・実施すれば 2/7 の休日確保可能と考えられた。

3. 工夫・改善点とその結果

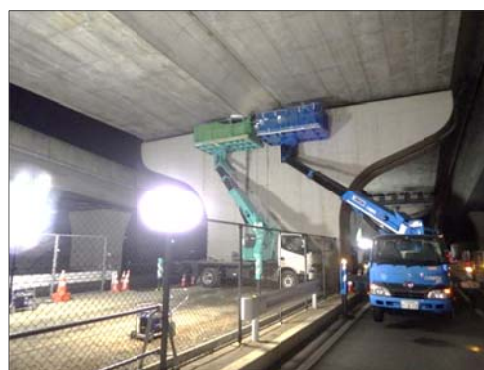
① 5 現場の連絡調整について

5 現場の工程調整・情報共有・工事看板等の統一化のため城北耐震工事協議会を発足し、毎週木曜日に協議会を開催しこまめに連絡調整を行った。工事初期段階においては、共通のイメージアップ看板の作成や交通規制方法の検討・調整をもとに交通処理計画の作成、工程確認による同一側での路肩規制等の調整を行い、一般交通がスムーズに流れるように計画した(工事の初期・後半は毎週調整会開催)。

その他として、橋脚部上部工よりアイガスが側道の車線上に垂れてしまう状況が確認されていたため、早急に対応しなければならない事案があった。1 現場が夜間側道通行止め規制を予定(岳美)していたため、協議会全体で同調し通行止め中にアイガス撤去と流下防止対策を行うことが出来た。



アイガスの発生
道路に垂れ落ちてしまっている



アイガス撤去状況(夜間)
通行止めにし、高所作業車
を使用しての撤去



② 流下防止対策(面木の設置)

②/7 確保のための工程管理について

本線 2 橋脚、オフランプ 4 橋脚と 1 橋台の施工を交通規制に配慮しながら、手待ち・手戻りの無い工程にて施工していたが、検査路上部工ブラケットに関し設計見直しによる変更により 3 箇所アンカーの再削孔が必要となった。既に巻き立てコンクリート用の柱部足場が設置済みで、再削孔のための作業スペース確保が出来なかった。そのため、再削孔は吊り足場架設(側道上)後の施工となり、3 週間程度上部工ブラケットの製作が遅れることとなった。工程の組み直しの必要があり、下請け業者と詳細な打合せを行い工程を再検討した。

工程調整により工期後半は休日作業が発生してしましたが、検査路を 2 月後半に設置完了させ、無事故で工事を完了させる事ができた。

最終的に対象日数の 295 日に対し休日取得日数が 87 日で取得率 29.5%を得ることができた(2/7 相当の休日=28.6%)。

休工(土日等)取得日数

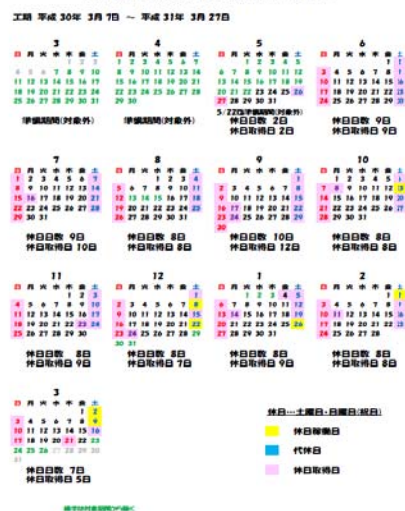
	対象日数	休日取得日数	作業日数	休日等稼働率	摘要
平成30年 3月	0	-	-	-	準備期間
平成30年 4月	0	-	-	-	〃
平成30年 5月	9	2	0	0%	準備期間短く
平成30年 6月	30	9	0	0%	
平成30年 7月	31	10	0	0%	夏季休暇 30日間短く
平成30年 8月	28	8	0	0%	
平成30年 9月	30	12	0	0%	
平成30年 10月	31	8	0	0%	10/9 祝日 短縮
平成30年 11月	30	9	0	0%	
平成30年 12月	28	7	1	12.5%	12/22 祝日 短縮 12/23 祝日 短縮 12/24 祝日 短縮 12/25 祝日 短縮 12/26 祝日 短縮 12/27 祝日 短縮 12/28 祝日 短縮 12/29 祝日 短縮 12/30 祝日 短縮 12/31 祝日 短縮
平成31年 1月	28	9	0	0%	1/1 祝日 短縮 1/2 祝日 短縮 1/3 祝日 短縮 1/4 祝日 短縮 1/5 祝日 短縮 1/6 祝日 短縮 1/7 祝日 短縮 1/8 祝日 短縮 1/9 祝日 短縮 1/10 祝日 短縮 1/11 祝日 短縮 1/12 祝日 短縮 1/13 祝日 短縮 1/14 祝日 短縮 1/15 祝日 短縮 1/16 祝日 短縮 1/17 祝日 短縮 1/18 祝日 短縮 1/19 祝日 短縮 1/20 祝日 短縮 1/21 祝日 短縮 1/22 祝日 短縮 1/23 祝日 短縮 1/24 祝日 短縮 1/25 祝日 短縮 1/26 祝日 短縮 1/27 祝日 短縮 1/28 祝日 短縮 1/29 祝日 短縮 1/30 祝日 短縮 1/31 祝日 短縮
平成31年 2月	28	8	0	0%	2/1 祝日 短縮 2/2 祝日 短縮 2/3 祝日 短縮 2/4 祝日 短縮 2/5 祝日 短縮 2/6 祝日 短縮 2/7 祝日 短縮 2/8 祝日 短縮 2/9 祝日 短縮 2/10 祝日 短縮 2/11 祝日 短縮 2/12 祝日 短縮 2/13 祝日 短縮 2/14 祝日 短縮 2/15 祝日 短縮 2/16 祝日 短縮 2/17 祝日 短縮 2/18 祝日 短縮 2/19 祝日 短縮 2/20 祝日 短縮 2/21 祝日 短縮 2/22 祝日 短縮 2/23 祝日 短縮 2/24 祝日 短縮 2/25 祝日 短縮 2/26 祝日 短縮 2/27 祝日 短縮 2/28 祝日 短縮 2/29 祝日 短縮 2/30 祝日 短縮
平成31年 3月	22	5	2	28.6%	3/1 祝日 短縮 3/2 祝日 短縮 3/3 祝日 短縮 3/4 祝日 短縮 3/5 祝日 短縮 3/6 祝日 短縮 3/7 祝日 短縮 3/8 祝日 短縮 3/9 祝日 短縮 3/10 祝日 短縮 3/11 祝日 短縮 3/12 祝日 短縮 3/13 祝日 短縮 3/14 祝日 短縮 3/15 祝日 短縮 3/16 祝日 短縮 3/17 祝日 短縮 3/18 祝日 短縮 3/19 祝日 短縮 3/20 祝日 短縮 3/21 祝日 短縮 3/22 祝日 短縮 3/23 祝日 短縮 3/24 祝日 短縮 3/25 祝日 短縮 3/26 祝日 短縮 3/27 祝日 短縮 3/28 祝日 短縮 3/29 祝日 短縮 3/30 祝日 短縮 3/31 祝日 短縮
累計	295	87	3	3.4%	

休日取得日数 / 対象日数 = 取得率

87 / 295 = 29%

※ 2/7以上の日数点以下切り上げ=29%

連休1日相当(対象期間2/7以上)確認カレンダー



4. まとめ

本工事は住宅街に隣接し、交通量の多い道路で5現場連続という環境であったが、各現場との密な連絡調整、統一したお知らせ看板の設置等の工夫を行った結果、苦情の発生もなく全5現場が無事故で完成出来た。

また、橋梁下という雨天の影響を受けにくい好条件でしたが、ムダ・ムリのない工程管理により2/7の休日が確保出来たことは非常に自信になりました。

今後の工事においても周囲の環境、工程調整等を考慮した施工管理を行いながら、週休2日の休日確保に努力していきたいと思えます。